

# 紬の伝統を支えています！ 結城紬産地振興人材育成研修



図1 製織準備②コース（筥通し）



図2 染色コース  
(すりこみ染色基礎 上：墨付け、  
下：緋糸試し織)



図3 緋製織（100 带状）

## 【内 容】

本研修は、結城紬の生産技術者の育成を目的として実施しています。

結城紬は分業による生産体制をとっていますが、技術者の高齢化が進む中、将来的に複数の生産工程を担うことのできる人材の育成が、産地における重要な課題となっています。

そのため、令和5年度より結城紬の生産工程ごとに研修コースを細分化し、技術の習得状況に応じて必要な研修コースを受講できる体制としました。（表1）

表1 令和7年度 研修コース・研修内容

コース名	のべ日数	主な内容
機織基礎	約3日	結城紬基礎、織物設計、機結び、たて結び
糸準備	約3日	糸織度計算、糸揚げ
染色 (図1)	約10日	浸染基礎座学、染料計算・計量方法、かせ糸浸染実習、すり込み染色基礎研修
製織準備① (図2)	約35日	下糊付け、繰り返し、かせ揚げ、整経、本糊付け
製織準備② (図3)	約15日	先分け、筥通し、機巻き、前結び、小巻き、掛糸掛け、かしあげ
製織 (図4)	約130日	地機製織（帯地1本、着尺2反）
緋製織	約5日	100 带状又は飛び緋製織

## 【研修の成果】

今年度は、従事者6名を受け入れました。

研修を修了した方は、習得した技術を活用し、引き続き結城紬の生産に携わっていくことになります。

これまでの研修修了生は、毎年開催される茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」において数多く入選しており、産地内でも高い評価を得ています。

また、結城紬の織手として経験を積んだ修了生は、伝統工芸士の認定、緋括りなどの技術習得、さらにはオリジナル製品の製造に取り組むなど、幅広く活躍されています。令和7年には、研修修了生から初めて茨城県本場結城紬織物協同組合の組合員が誕生し、今後の産地を担う人材として期待されています。